

第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成 25 年 1月

応募者名:北海道 空知総合振興局 札幌建設管理部

事業の名称:当別都市計画道路事業3.3.1号当別大通

実施都市名:北海道 当別町

事業目的

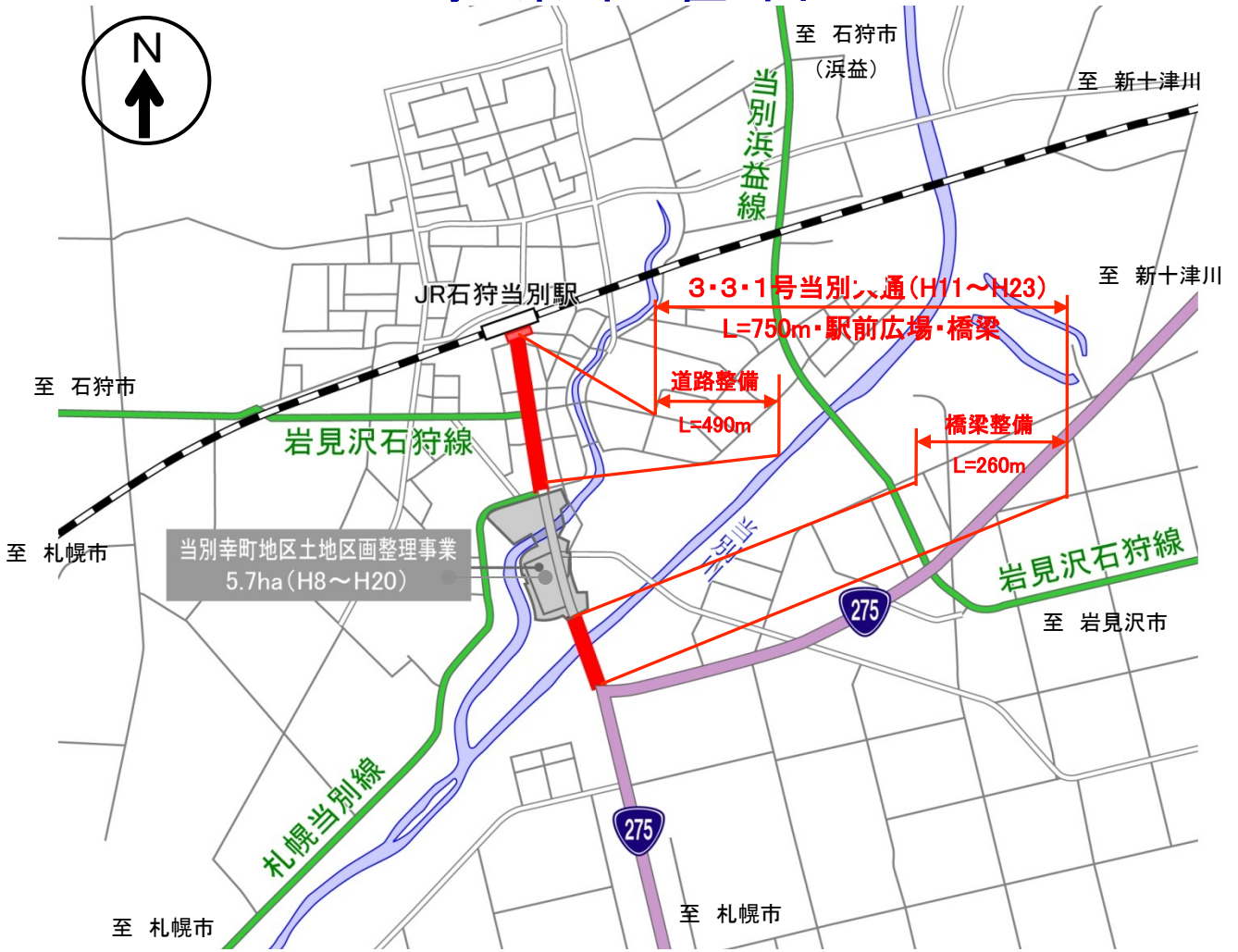
当別大通は、JR石狩当別駅と国道337号(現主要道道岩見沢石狩線)、国道275号を連絡する重要路線であるが、狭小幅員、線形不良のため、安全・円滑な道路利用に支障をきたしていた。本事業は、当該路線の広幅員化・線形改良による交通流の円滑化および、安全・安心な歩行空間の確保を図るものである。また、同時に当別町中心市街地の良好な街並みづくりに寄与するものである。

事業概要

事業名称: 当別都市計画道路事業3.3.1号当別大通
路線名: 道道岩見沢石狩線、道道石狩当別停車場線
事業箇所: 北海道当別町
事業延長: L=750 m(うち橋梁L=260m)・駅前広場
幅員: W=25.0m(橋梁部W=22.5m)
事業費: 4,295百万円
事業実施期間: 平成11年～平成23年

本路線は、当別町の駅前通りを形成する骨格道路である。当該道路は、幅員が狭く、線形の一部にクランク形状が残るなど、安全な通行に支障をきたしていた。本事業により、道路の広幅員化、線形が改良され、都市内交通の円滑化と安全安心な歩行空間の確保された。また、当別幸町地区土地区画整理事業と連携・支援し、当別町中心市街地の一体的整備により、町の顔づくり、メインストリートの賑わいづくりに寄与している。

事業位置図

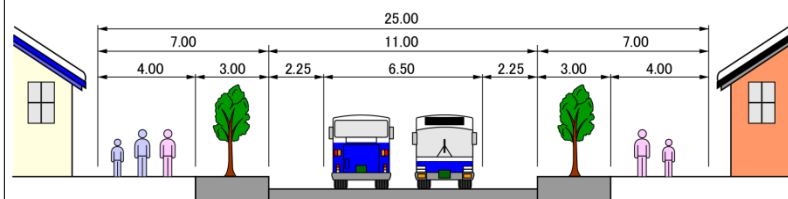


全体図(平面図・側面図・横断面図)

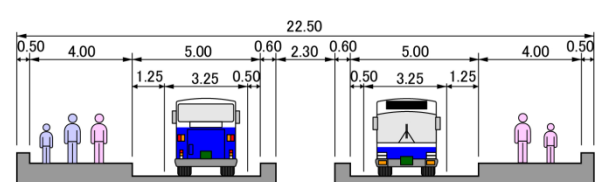
3-3-1号当別大通(H11~H23)



標準断面図



橋梁部



3.3.1号当別大通の整備効果アピール資料

当該道路の整備により、都市内交通の円滑化、通勤・通学の安全、安心な歩行空間が確保されました。また、当別幸町地区土地区画整理事業と連携・支援し、当別町中心市街地の一体的整備により、町の顔づくり、メインストリートの賑わいづくりに寄与しています。



○整備効果

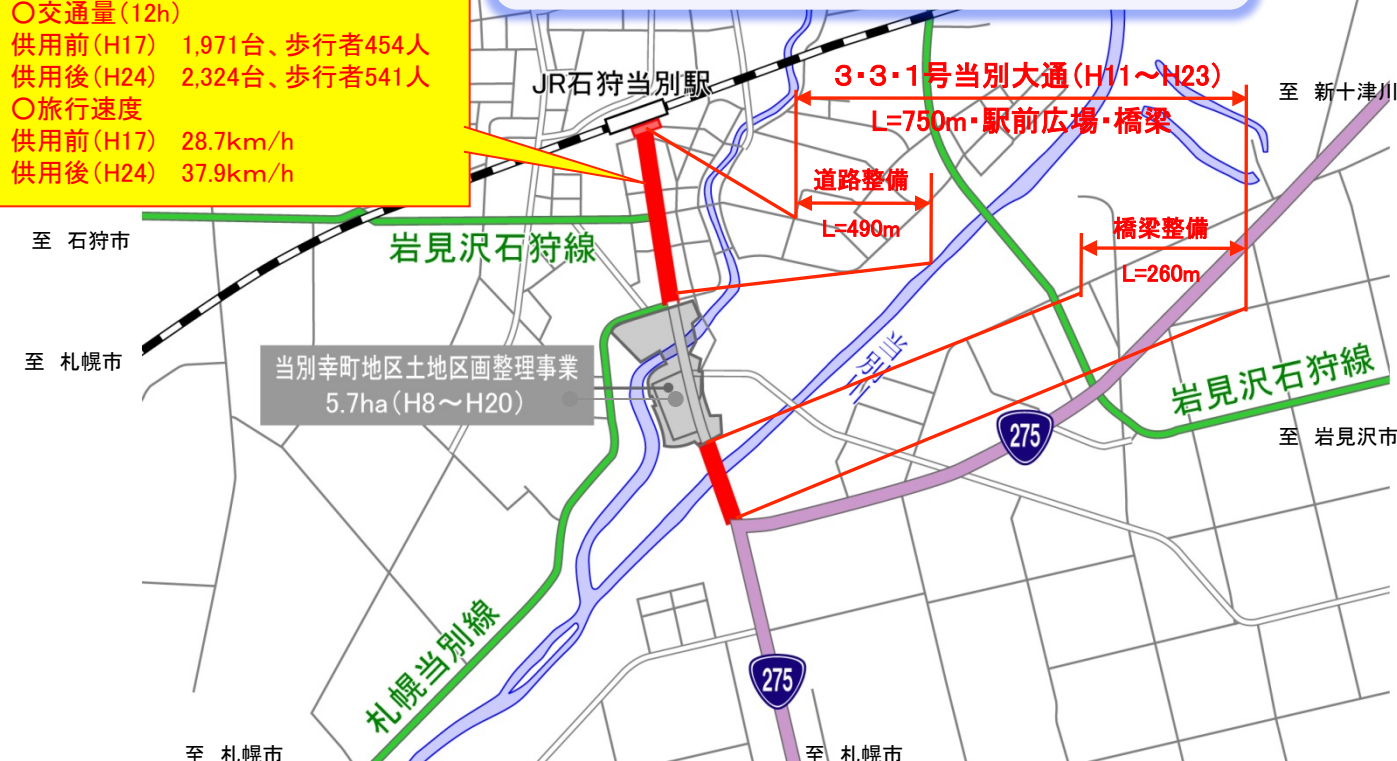
- ・道路拡幅・線形改良による交通の円滑化
- ・広幅員歩道の整備による安心・安全な歩行空間の創出
- ・当別町の中心市街地のうるおいある街並みの創出

○その他の事業効果

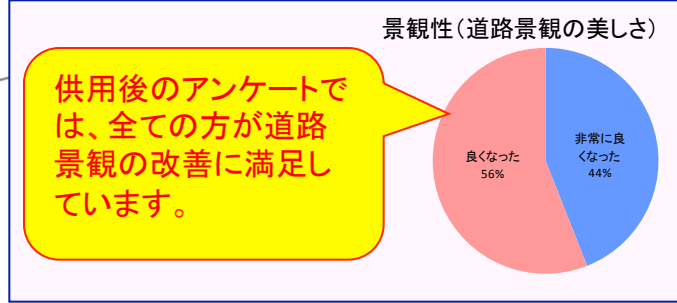
- ・一次緊急輸送路としての機能向上
- ・活発な住民活動の場として中心市街地の活性化に寄与



○交通量(12h)
 供用前(H17) 1,971台、歩行者454人
 供用後(H24) 2,324台、歩行者541人
 ○旅行速度
 供用前(H17) 28.7km/h
 供用後(H24) 37.9km/h



○事業概要
 事業名：当別都市計画道路事業3.3.1号当別大通
 路線名：道道岩見沢石狩線、道道石狩当別停車場線
 事業箇所：北海道当別町
 事業延長：L=750m(うち橋梁部L=260m)
 幅員：25.0m(橋梁部22.5m)
 総事業費：4,295百万円
 事業期間：平成11年～平成23年



●当別大通は多彩な住民活動・イベントの場として地域住民に親しまれています。



事業前写真

平成12年8月撮影



狭小幅員のため車輛の通行、通勤・通学の歩行安全に支障をきたしていました。

平成12年8月撮影



土地区画整理事業と一体となった街並み景観の形成が望まれていました。

平成14年5月撮影



線形の一部にクランク形状が残るなど、安全な通行に支障をきたしていました。

事業後写真

平成24年7月撮影



道路の広幅員化により安全・快適な道路空間が創出されました。

平成24年7月撮影

平成24年7月撮影



土地区画整理事業と一体となった良好な街並み景観が創出されました。



線形改良により見通しの良い安全な道路空間が創出されました。